



# 学校だより

<http://www.sumida.ed.jp/ryogokusho/>

令和6年4月30日

墨田区立両国小学校

墨田区両国4-26-6

TEL 3634-7876



## 子供たちに読書の楽しさを

校長 渡邊 圭三

本校の図書館は、今月16日に開館し、「早く始まらないかな」と楽しみにしていた子供たちも少なくありません。3階の階段を上がって左側が「高図書」、右側が「低図書」と呼ばれ、思わず手に取ってみたいくなるようなレイアウトです。整備を中心となって行っているのは、図書館司書の方たちで、年度始にはオリエンテーション、学級の図書の時間には「読み聞かせ」や「アニメーション」を実施し、子供たちの興味関心を高めてくださっています。また、本校の充実した読書活動に忘れてはならないのがPTAボランティアの皆様です。活動内容は

- そよ風文庫 金曜日の朝、各教室で読み聞かせを行っているボランティア活動
- 図書ボランティア 図書館の本の整理や室内装飾、図書委員会の貸し出しの補助

両国小の子は本当に恵まれていますね。本がきれいに整えられていることや様々な本を読んでいたことに感謝の気持ちを忘れず、お話をしっかり聞いてほしいものです。

さて、墨田区は「子ども読書活動推進計画（第4次）」の中で、読書習慣の形成を図る上で、子どもの発達段階に応じた読書活動を進めていくために、小学生期の施策として「学校図書館での授業や調べ学習を通じて、図書を選ぶ楽しさ、読書を通じた活動の面白さを味わえるような施策を進めること」を掲げ、具体的な目標値も定めています。本校の子供たちは、充実した環境や読み聞かせにより、たくさんの本と出会う機会をもつことができます。しかし、児童一人あたりの図書貸し出し冊数は昨年度55.4冊で、区の目標値55冊をこらうじて上回っているものの、一昨年度比9ポイント下がっています。「不読率（一か月に一冊も本を読まない子供の割合）」も昨年度の5年生（現6年生）は21.7%と区の目標値11.6%とは大きな隔たりがあります。今後、学校では子供それぞれの読書意欲の違いや、読書をする上で必要な支援を把握し、一人一人に応じた働きかけを大切にした指導をしていきます。また、様々な工夫を凝らして子供たちが本に親しめるようにするとともに、本から得たことを学習や生活に生かせる取組を各学級で行い、図書館司書とも連携を図りながら、これからも子供たちが本に親しみ読書の楽しさを実感できる環境づくりを進めてまいりたいと思います。

来月中旬までの「こどもの読書週間」にちなみ、地域の図書館でも関連イベントが行われています。お子さんと足を運んでみてはいかがでしょうか。またご家庭でお子さんとお気に入りの本を話題にさせていただくのもよいでしょう。墨田区では、読書環境の充実を目的として昨年6月から図書館電子書籍サービスも開始しています。本は知識や知恵だけでなく心も豊かにします。ぜひ、ご家庭でも本に親しむ機会を作っていただければ幸いです。